

13. 認知症治療研究センター関連

臨床評価指標項目	2019(平成 31/令和元)年度	2020(令和 2)年度	2021(令和 3)年度
認知症専門外来受診者数	297	286	333
電話相談	1,749	1,676	3,364

解説文

認知症専門外来は、「高齢者専門外来」という名称で火曜日、水曜日、木曜日の午後に開設されている専門外来です。

もの忘れを心配して受診をした患者さんに対し、一般血液・生化学・血清検査、形態画像検査、脳波検査、認知機能検査などを一通り実施し、行ったすべての検査結果の情報をもとに診断を検討します。認知症と診断された場合は、今後の薬物治療の見通しや利用できる社会資源の情報提供、関わり方や環境面の工夫などを丁寧に説明し、本人ならびに家族への支援を行っています。

また、高齢者の方々に生じる精神面の問題は、心理社会的な要素や身体疾患の影響など、複数の要因が複雑に絡み合い、認知症のみならず不安症やうつ病、妄想性障害といった各種の病態が生じます。認知症の前段階としての不安症やうつ病が先行する事例があることも近年注目されてきています。こうした背景を考慮し、高齢者専門外来では、認知症のみならず、老年期の精神疾患全般についてのご相談にも応じています。

電話相談は、メディカルサポートセンターで受ける認知症関連の電話相談に加え、川崎市の委託事業として行っている認知症無料相談が含まれています。認知症無料相談とは、地域住民のための無料電話相談窓口で、他の関係機関の紹介や介護相談、受診に至るまでの支援等にも対応しています。

件数は年度ごとに増減はありますが、地域や市民の相談窓口として定着し、活用されていると考えています。